

知っていますか？お薬のこと・治験のこと

「臨床試験（治験）」ってどんなことをするの？②

薬の開発に必要である「臨床試験（治験）」は大きく分けて3つのステップがあります。今回は第2相試験（フェーズⅡ）についてご説明させていただきます。

【第2相試験（フェーズⅡ）】

◎安全が確認された「くすりの候補」について、少数の患者さんを対象にくすりの安全性と有効性を調べます。
・くすりの使い方（投与量・投与期間・投与間隔など） ・患者さんにおける安全性確認



↑臨床薬理センター

第2相試験（フェーズⅡ）は、生活習慣（糖尿病・高血圧症など）やアレルギー疾患など主に患者さんを対象に、最も効果的な投与量を調べ、通院などで参加できる試験を中心に実施しています。臨床試験を行うためには多くの「協力者（ボランティア）」が必要となります。

外来診療スケジュール

5月11日より変更しております
事前に確認の上、受診して下さい

診療科	時間帯	専門	月	火	水	木	金	土
整形外科	午前		林 山口浩司	林 山口浩司		入江	小山	輪番
	午後	ひざ専門 関節 スポーツ	山口浩司			佐藤 林(予約制)	小山 山口浩司 (予約制)	
	午前	リハビリ診療			西			
	午後				増田			
内科	午前	一般	西村(予約制) 吉田	篠原(予約制) 山口勉	篠原(予約制) 山口勉	篠原	西村(予約制) 山口勉	輪番
		糖尿病 代謝		篠原(予約制)	篠原(予約制)	篠原	篠原(予約制)	
		神経内科				植田		
		消化器	増田	山口勉	山口勉	増田	山口勉	
		循環器		藤末				藤末(第1・3・5週) 荒木(第2・4週)
	午後	一般	篠原(予約制)	西村(予約制) 吉田	西村(予約制)	篠原(予約制)	吉田	
		糖尿病 代謝	篠原(予約制)			篠原(予約制)		
泌尿器科	午前					米納(予約制)		
	午後			米納・本多 (隔週・予約制)				
皮膚科	午前				山下(予約制)			
	午後			山下(予約制)		山下(予約制)		
麻酔科	午前			柳下/辻			柳下	
	午後							

※学会などで診療スケジュールが急きょ変更になる場合がございます 詳細はお電話などで確認下さい

～人がまんなか～

にしくまだより

通所リハビリテーション
れんげ草スタッフより
皆様に愛をこめて

Vol.79 Summer



CONTENTS

- ◆通所リハれんげ草より
- ◆地域包括ケアの当院の取り組み
- ◆看護部合同発表会
- ◆治験のこと ◆診療スケジュール

通所リハビリテーションれんげ草では
利用者様が日々の生活を、暮らし
やすくするために、各専門スタッフ
が指導や支援を行っていきます！
トレーニング室にて

通所リハビリテーションれんげ草 新任のご挨拶

「活動」「参加」に焦点を当てたりハビリテーションを目指して

通所リハビリテーションれんげ草は介護保険の認定をお持ちの方が対象の事業所で定員が1日80名になります。にしくもと病院はもちろんですが、れんげ草でもリハビリテーションに力を入れており、理学療法士2名、作業療法士4名、言語聴覚士1名（病院と兼務）を配置しております。

平成27年度の介護報酬改定では、これまで以上に「活動」と「参加」に焦点を当て、利用者様が住み慣れた地域でいきいきと生活をしていけるよう支援していく事が推奨されています。今回新設の「生活行為向上リハビリテーション実施加算」に対し、意欲的に取り組んでいきたいと思っております。

また、本加算を算定するに当たり必要な新設の「リハビリテーションマネジメント加算（Ⅱ）」についても、当院医師、各療法士にて体制を整え、リハビリテーション会議の開催、訪問指導の実施等も積極的に行って参ります。



今後、地域包括ケアシステムの構築が進んでいきますがその中で、地域になくてはならない、地域の方々の「拠り所」のような事業所になっていきたいと思っております。

そして、地域の皆様が住み慣れた地域でいつまでもいきいきと生活が送れるよう支援して参りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



通所リハビリテーションれんげ草
管理者代行 田中智寛

看護部教育合同発表会を開催しました

2月28日13時より看護職員による一年間の取り組みの発表会を行いました。他者（他部署）への取り組みの成果を共有し、日常の看護に活かせるように、毎年この発表会を実施しております。各看護師が実践能力毎に分かれ、各自で決めたテーマにそって取り組んだ活動を発表し、評価を行います。



TOPIC

新しい仲間が増えました

今年も当院に23名の新入職員がやってきました。2日間にわたって行った全体オリエンテーションでは、医療安全や院内感染の技術面だけでなく、当院の歴史やこれからの方向性、働く意義などを学んでいただきました。その後はそれぞれの職種に分かれ研修を行いました。これから立派なにしくスタッフになるべく精進します。



地域包括ケア 当院の取組み ～PART2～

厚生労働省は団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）となる2025年（平成37年）を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続ける事ができるよう地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。

当院も下益城郡医師会の在宅医療連携拠点事業北部地区拠点病院として運営委員会を開催したり、地域の健康増進に関する取組や予防活動に関するさまざまな活動を行っております。



にしくまカフェ

地域連携室では近隣医療機関や介護施設と更なる連携をはかる為、毎月にしくまカフェと銘打った会議・勉強会を開催しております。興味のある方はお気軽にご参加ください（要事前申込）

◆第1回 平成26年12月17日（水）19:00～12施設17名参加

・アンケート集計報告・「在宅医療連携拠点事業とにしくもと病院の取り組みについて」病院長林より・意見交換

◆第2回 平成27年1月19日（月）19:00～16施設27名参加

・「当院の訪問診療・看護状況の報告」当院在宅担当医師、訪問看護師より・各施設紹介

◆第3回 平成27年2月16日（月）19:00 12施設37名

・「施設でできる誤嚥予防対策」当院STより・「廃用・転倒予防対策」当院PTより

◆第4回 平成27年3月16日（月）19:00～8施設15名

・デスカンファランス・外部介護職員様、当院訪問看護師、医師松本武敏様、病院長林より

◆第5回 平成27年4月20日（月）18:00～17施設38名、当職員30名合計68名参加

・「終末期の変化と対応」施設様へのアンケート結果報告、医師吉田より終末期患者への対応方法など

第6回は5月18日（月）18:00～通所リハれんげ草にて行います。ぜひご参加ください！

※参加希望の方は地域連携室までご連絡ください。



ひざの健康教室



3月18日アスパル富合にて「ひざの健康教室」を開催しました。高齢化に伴いひざ痛に悩む人が増加しているのか、当日は定員60名を上回る78名の参加者がありました。内容は関節外科センター長の山口医師による講話「膝痛の原因と予防法等」の後、理学療法士による膝痛予防体操指導などを行いました。終了後は医師も交え手術患者様との交流会も行いました。今回参加できなかった方もぜひ次回ご参加下さい。

在宅医療・地域フォーラム

3月28日ウイング松橋にて下益城郡医師会主催の取組み「在宅医療・地域フォーラム in 宇城」が開催されました。当院も北部地区拠点病院として企画運営に加わりました。林院長もこの中で「家族の看取りの体験から思ったこと」と題して講演を行いました。参加者からは「終活について家族や母とゆっくり話してみます」や「2025年に向けて考えていかなければいけないと感じた」など、これからについて考えるきっかけになったという意見をたくさん頂きました。

アンケート結果

- ・事前指定書を知っていた50%、知らなかった50%
- ・平穏死を知っていた73%、知らなかった27%
- ・事前指定書などを書いている4名、書いたことがある6名、書いたことはない109名

